

会議録（公表用）

件名	令和8年度第1回文化財保存活用地域計画作成協議会	作成課	教育委員会 管理部文化財課
日時	令和8年5月20日（水） 10時30分～11時45分		
場所	教育総合センター3階青年会館		
出席者	文化財保存活用地域計画作成協議会委員11人（欠席3人） 事務局5人		
会次第	<p>○報告事項（1）鹿児島市文化財保存活用地域計画作成の進捗状況について</p> <p>○協議事項（1）鹿児島市文化財保存活用地域計画の素案に関するパブリックコメントの実施結果について</p> <p>○報告事項（2）みんなにつながる文化財の魅力発信事業について</p>		
主要内容等	<p>（○委員 ●事務局）</p> <p>【報告事項(1) 鹿児島市文化財保存活用地域計画作成の進捗状況について】</p> <p>○計画は12月認定予定だが、策定して終わりではない。認定後の取組を動かすにしても、予算等との兼ね合いもあると思うが、その辺りはどう連携していくのか。</p> <p>●9月頃から次年度の予算編成作業が動き出す。そこで、第2回の会議を、当初12月で考えていたが、今後の取組について検討できるよう8月での開催も考えている。また、作成協議会とは別に、認定後に進捗管理を行う会の設置が必要なため、その辺りの検討も行っていく。</p> <p>【協議事項(1) 鹿児島市文化財保存活用地域計画の素案に関するパブリックコメントの実施結果】</p> <p>○パブコメの人数が5人というのはどうなのか。</p> <p>●人数としては少ないが、市民参画の場合はパブコメだけではないと考え、ワークショップの開催や大学での講義、また外部会議として文化財審議会とは別に作成協議会を設置、コラムの挿入など、様々な機会が多くの方の参画をいただきながら作成してきている。</p> <p>○行政の計画は仰々しくなりがちだが、コラムが入ったことにより、生身の人間が参画し、思いを持って関わっているという手触り感が出た。広く市民に伝えていくか、紙だとボリュームが増えてしまうが、データだと見せ方があると思う。コラムの一覧などがあると良い。</p> <p>●ホームページにもコラムだけ特出したいと考えている。また、毎年少しずつ増やしていったら、協力者が増えている事を見せていけたら。色々な立場の人が関わっていることが見えることが大事。</p> <p>○市民が最初に手に取るのは概要版。いかに分かりやすいものにするかが大事。</p> <p>【報告事項(2) みんなにつながる文化財の魅力発信事業について】</p> <p>○背景の、文化財は難しいと感じるということと、魅力発信は別問題。このような課題意識を持っているのであれば、学生たちにさせるのではなく、行政職員の間づくりにしていかないと、学生にさせるだけでは、いつまで経っても本質的部分が変わらない。</p> <p>●これまでの文化財課の情報発信は説明。今回取り組みたいのは魅力発信なので、</p>		

切り分けて考えている。大学生が提言の場で「もっと SNS を」という意見はありがちであるが、一方、文化財課として紙以外の情報発信ができていないという課題認識はあった。今後、地域社会総がかりで文化財の継承を考えると、例えば、郷土芸能を踊る人、差し入れする人、情報発信する人、お金で協力できる人、といった様々な関わり方で協力をもらっていく必要がある。色々な方の協力をもらうには、まずは地域が頑張っている姿を見せないといけない。そのためには多様な世代の人が関わっている事を見せていく必要がある。